

PRESS RELEASE（報道関係者各位）

2025 年 12 月 22 日

No. 2025-008

石川県輪島市図書館へ移動図書館車両を寄贈

—令和 6 年能登半島地震の復興支援として、読書と交流の機会を地域へ—

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（所在地 東京都新宿区／会長 若林恭英／以下シャンティ）は、令和 6 年能登半島地震の被災地における復興支援の一環として、移動図書館車両一式を輪島市図書館へ寄贈し、2025 年 12 月 16 日に輪島市にて贈呈式を実施しました。

※本贈呈式では、車両の納車準備の都合により、目録のお渡しを行いました。車両は準備が整い次第、輪島市図書館へ納車予定です。



小川 正輪島市教育委員会教育長と当会会長の若林恭英

贈呈式では、当会会長の若林恭英より小川 正輪島市教育長へ目録の贈呈を行いました。また、車両デザインを手掛けた金沢美術工芸大学 2 年生の山崎ゆめさんからは、制作にあたってのコンセプトやデザインに込めた願いについてメッセージが寄せられました。

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 担当：広報・リレーションズ課 鈴木、平島
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階

TEL：03-6457-4586 FAX：03-5360-1220 E-mail: pr@sva.or.jp URL：<https://sva.or.jp/>

シャンティは震災以降、輪島市門前町で、避難所の運営支援、炊き出しや足湯活動など多様な支援活動に取り組んできました。こうした緊急期の支援を経て、日常に戻るきっかけや交流づくりを目的に、2025年7月より輪島市図書館と連携し、仮設住宅や公民館を巡回する移動図書館活動を実施してきました。これまでの実施回数は186回、利用者は1,475人、図書の貸出は冊数は2,099冊にのぼります（2025年11月末時点）。シャンティは震災以降、輪島市門前町で、避難所の運営支援、炊き出しや足湯活動など多様な支援活動に取り組んできました。

今回の寄贈により、輪島市図書館が主体となって中長期的に移動図書館サービスを継続できる体制づくりを後押しします。

寄贈の背景

2024年の地震や水害の影響により、地域の読書や交流の機会が制約を受ける状況が続いています。特に仮設住宅等では、生活の変化により、日常的に人が集い、交流する機会が限られているとの声が寄せられてきました。

移動図書館は、本との出会いに加えて、人と人との自然に顔を合わせ、交流し合う場としても機能します。子どもから高齢者まで、幅広い世代の心の支えとなることが期待されます。

移動図書館活動の今後の展開

今後も輪島市図書館と連携し、地域ニーズに即した巡回先や運行体制の検討を進めながら、読書と交流の機会を継続的に届けるための仕組みづくりを支援していきます。

本車両が、地域の皆さまの暮らしの中で、読書と交流の機会を支える身近な存在となることを願っています。

ご挨拶

輪島市教育委員会 教育長 小川正様

シャンティ国際ボランティア会には発災直後より、輪島市にて支援を続けていただき誠にありがとうございます。国内外で被災地支援の経験が豊富なシャンティ国際ボランティア会より協力いただきながら、2024年7月より移動図書館活動を開始し、これまで図書館から遠い仮設住宅、公民館を中心に毎月1回の巡回を続け、186回の実施、1,475人に利用いただき、2,099冊の本を貸し出しました。つまり、2,099回心を癒したということです。

移動図書館活動には以下のような効果があると期待しております。

- ① アクセス回復：図書館・本屋に行けない人への生活インフラ
- ② 居場所・再会・関係性：災害後の孤立を緩める「集まれる理由」
- ③ 心の癒し：読書が不安・喪失・疲労のセルフケアに
- ④ 生活再建のヒント：実用書が「今の暮らしの処方箋」

この度、シャンティ国際ボランティア会より移動図書館車を寄贈いただき、素敵なデザインを金沢美術工芸大学より協力いただきました。来年2月頃から現在の運行先に加え、保育所にも活動を広げ、復旧復興の支えになるよう取り組んでいきたいと思っております。

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 担当：広報・リレーションズ課 鈴木、平島
〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3階

TEL：03-6457-4586 FAX：03-5360-1220 E-mail: pr@sva.or.jp URL：<https://sva.or.jp/>

金沢美術工芸大学 美術工芸学部デザイン科インダストリアルデザイン専攻 山崎ゆめ様

この移動図書館車は、輪島市の空と海をモチーフにしながら、見たときに「図書館だ」とすぐ伝わることを大切にしてデザインしました。

本の色には輪島市の鳥であるトキの朱色を重ね、街らしさをさりげなく込めています。

親しみやすく楽しい印象を通して、本と人、人から人へとつながっていくきっかけになることを願っています。

この移動図書館が、多くの人に本を届け、日常に笑顔を生み出す存在になればうれしいです。

シャンティ国際ボランティア会 会長 若林恭英

先ず、この場をお借りして、昨年年明けの大震災、9月の豪雨災害で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

この度は復興へのお手伝いとして、移動図書館車両を贈呈させていただくことになりました。何をもって復興できたとするかは、考え方にもよりますが、いずれにしても永い年月を要することは否めません。そうした期間中において、市民の皆さんの沈みがちな心に活力を与えてくれるのが図書館、中でも移動図書館だと思います。

その証拠に昨年より市の図書館と協働して開始している移動図書館活動において、利用者の声として「本が向こうから来てくれる」ことが生活の支えになっているという声をお聞きしています。また、特に留意していることは、運行を通して「お茶飲み場」づくりもしています。その場では利用者お互いの会話も多く、居場所と縁づくりの機能も持たせていますので、「話ができて少し楽になった」という声もいただいています。

こうしたことは東日本大震災復興のお手伝いとして陸前高田・南相馬での経験が裏付けとなっています。

この度、シャンティに託された支援者様の想いを、金沢美術工芸大学の学生さんのお力添えをいただき、モダンなデザインの移動図書館車贈呈という成果が得られました。

今後、シャンティとしてしばらく伴走させていただきますが、市民の皆さんの心の支えになることができれば、これに過ぎる喜びはありません。

どうぞ大いに活用していただくことを祈念し、ご挨拶といたします。

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 担当：広報・リレーションズ課 鈴木、平島
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階

TEL：03-6457-4586 FAX：03-5360-1220 E-mail: pr@sva.or.jp URL：<https://sva.or.jp/>



寄贈した移動図書館車のイメージ画像



移動図書館活動の様子

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 担当：広報・リレーションズ課 鈴木、平島
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階

TEL：03-6457-4586 FAX：03-5360-1220 E-mail: pr@sva.or.jp URL：<https://sva.or.jp/>

<シャンティ国際ボランティア会について>

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会は、1981年に設立された、アジアで子どもたちへの教育文化支援や緊急人道支援を行う NGO です。子どもたちがどのような環境下でも学ぶことができるよう、シャンティは教育の機会を届けています。

設立：1981年12月10日

会長：若林 恭英

所在地：〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階

事業内容：教育文化支援事業、緊急人道支援事業

公式ウェブサイト URL：<https://sva.or.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 担当：広報・リレーションズ課 鈴木、平島
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2・3 階

TEL：03-6457-4586 FAX：03-5360-1220 E-mail: pr@sva.or.jp URL：<https://sva.or.jp/>